

「塾 = 教育代行業」の精神で 一人ひとりを親身にサポート



塾長 宮城 英陽

自身が苦学した経験から、大学生の頃より塾を開くことを考える。早稲田大学を卒業後は東京都内や神奈川県内の個別指導塾で教室責任者として10年以上携わり、満を持して2015年4月に「目黒個別指導学院」を独立開業するに至った。

目黒個別指導学院 西小山駅前校

〒152-0011

東京都目黒区原町 1-7-5 遠藤ビル 2F

東急目黒線 西小山駅 徒歩1分

TEL 03-6712-2375

URL <http://www.megurokobetsu.jp>

Company data

利に比重が置かれているというのが主な理由でした。しかし病院が病気を治す所であるように、塾は勉強の苦痛を喜びに変え、生徒の成績を上げるための場所。それを踏まえて当塾では「一人ひとりに合わせて手厚く親身に指導すること」「成果を上げるために繊細かつ臨機応変に指導すること」をお約束しています。個別指導塾として当たり前のことをし続けながら、コストパフォーマンスの面でも親御さんにご納得して頂けるように授業の質を高めていきたいですね。

杉田 そうなると必然的に、講師育成にも力を入れているのですね。

宮城 はい。子供が好き、教えることが好きということは当然の条件として、講師には子供の人生をも左右する職業であり、失敗をすれば人生を悪い方向に変える可能性すらあるということを常に考えて授業してほしいですね。

生徒を成長させるためには教える側も成長する必要があります。指導者の成長度と生徒の成長度は正比例します。これから1人でも多くの生徒や親御様を通して良かったと思える塾を、仲間たちと一緒に作っていきます。

杉田 私たちの世代は集団指導がほとんどでしたが、最近は個別指導塾が増えてきているようですね。

宮城 はい。生徒さんは一人ひとり、性格も違えばつまりポイントも違います。集団指導塾や通信教育で成績が上がる子もいれば、マンツーマンで教えないと集中力が保てない子もいる。そうした様々な学習ニーズを満たす1つの形として、個別指導塾が増えていると思います。

杉田 教室は広々としているわりに、ブースの数が少ないように思います。

宮城 詰めて配置すれば20以上は設けられると思いますが、当塾は6ブース。飛行機で言えばエコノミーでなくビジネスクラスくらいの余裕を持たせています。これは、隣のブースで教えている先生の声などで生徒たちの集中力が失われるのを防ぐためです。

杉田 一人ひとりに手厚い教育を施そうという意識の高さがうかがえますね。

宮城 「塾 = 教育代行業」だと私は考えています。本来、親御さんが自分のお子さんに勉強を教えるのが理想ですが、実際はそれが難しいので塾が代行するわけです。だからこそ塾講師は親御さんと同じくらい親身になり、専門ノウハウと責任を持って生徒たちに接する必要があります。しかしあまり知られていませんが、個別指導なのに生徒を放任する塾も決して少なくありません。

杉田 個別指導塾は集団塾に比べ授業料が割高だと聞きます。にもかかわらずおどろきな指導をされたら残念ですね。

宮城 かつて他塾に勤めていた頃に、同僚に「自分の子供をこの塾に入れたいか」と聞いたことがありました。すると半数の答えは「入れたくない」。教務より営



▲ 宮城塾長から教材についての説明を受ける杉田さん

Guest Comment

杉田 かおる（女優）

小さくても最先端の医療を提供するクリニックのように、最先端の教育を提供したいとの抱負を語られた宮城塾長。「生徒や保護者の方と話をするのが楽しい。塾は私の天職」とも語っておられました。子供の将来を本気で考えてくれる、まるで「金八先生」のような熱い教育者です。

